

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	日本赤十字社協力事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 6	-
【施策名】 地域福祉の推進	総合計画書 (ページ)	65	

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業 10	福祉推進管理事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	-------	-----------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 赤十字活動資金(社資)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 社資実績額
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 日本赤十字社の理念や事業を周知するとともに、財政基盤の強化を図る。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 社資実績額/社資募集目標額
		③ そのために何をしましたか。 自治会の協力を得て、赤十字活動資金(社資)の募集活動を行った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 協力依頼をした自治会数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	円	857,670	785,030	804,460	/	/
		成果指標	②の数値	%	26.6	24.3	24.9	/	/
		目 標	②の目標値	%	/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方	社資実績額を社資募集目標額に近づける。					
活動指標	③の数値	団体	73	72	74	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	0	0	0	
			特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)		円				
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人				
			所要人数(再任用)	人	0.1	0.1	0.1	
職員人件費(再任用以外)	円							
職員人件費(再任用)	円	297,400	302,000	302,000				
事業費+人件費		円	297,400	302,000	302,000			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 日本赤十字社は、昭和27年に制定された「日本赤十字社法」に基づき設立された特殊法人であり、その定款に、市の区域に「地区」を置き、地方名を冠称することとなっている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 自治会が各戸から活動資金を募る個別収集から、一定の金額を一括して寄付する方法に変更している自治会が増えているため、募金総額が年々減少している。

仕 事 の 内 容	日本赤十字社協力事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組んだ	取組手法	③ ⑥			
	【取組手法の種類】					
	①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）					
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点						
特になし						
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	特になし					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	特になし					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
特になし						
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。				経費	仕事の経費は維持する。